

1. 日本屈指の米の名産地「秋田県」

恵まれた気候風土の中で、古くから稲作が行われてきた秋田。昭和の時代に産地として大きく飛躍し、日本屈指の米産地となりました。これまでに苦勞と努力を重ねてきた先人たちから受け継ぐ営農技術は、今日の秋田の農業の礎であり、発展の支えになっています。

- ◆秋田県：米の収穫量 全国3位 (令和2年)
- ◆あきたこまち：食味ランキング最上位を示す「特A」に幾度となく選定された美味しさです。

2. きりたんぽの本場「大館市」

秋田名物として有名な「きりたんぽ」ですが、その中でも食文化が地域に根付いており、本場と言えるのが大館です。特に、きりたんぽのダシや具材に欠かせない比内地鶏は、大館が日本一の産地であることから、コクのある美味しい比内地鶏を使用して、きりたんぽづくりを体験いただくことができます。また、長年多くの農作業体験や農家民泊も受け入れております。

- ◆大館市：教育旅行受入数21校1,356名 (令和3年)

3. プログラムの内容

「ツール」を活用し、先ず「コメ文化」を学ぶ。食の根幹である稲作を通じ、現在の食文化を学び大館ならではの「きりたんぽ体験」から物の大切さを学びながら、「食」「地域」「伝統」「人とのふれあい」など、コメ文化を支える持続可能な社会の在り方を学ぶ。米どころ秋田を代表するお米「あきたこまち」はツヤツヤと輝く透明感と香りの良さ、粘り気のあるもちもちとした食感が好まれ、きりたんぽづくりに適しています。

学習のねらい：「食育」「持続可能な社会」

旅マエ

1. つかむ(課題設定)

食について、身近な課題を抽出し、「食の大切さ」について考える

2. さぐる(課題訴求)

身近な「お米」に絞り考え、「美味しいお米をつくるために、農家さんは1年間どのような準備や作業をしているか」や、お米を大切に作る独自の文化の「きりたんぽ」について理解を深める

◆ 「ツール」「映像」の活用

旅ナカ

3. 深める(東北での修学旅行)

- ・本場のきりたんぽづくり体験
- ・農業体験
- ・はちくんの秋田杉絵馬づくり体験
- ・爆笑！秋田弁講座劇

所要：体験により1～2時間 (要確認)
 受入可能人数：体験により4～6クラス
 受入料金：体験により1,000～2,500円 (税別)
 受入時期：年中 (農業体験は季節により体験できる内容や人数が限られます)



旅アト

4. 広げる(修学旅行からの振り返り)

東北で経験したことを「自分」「家族」「地域等」に置き換え実際に「食の大切さ」や「持続可能な社会」についてまとめ「行動」や「発信」を行う。秋に収穫したお米が届くまで、HPで配信される田んぼの生育状況を確認し、作物ができるまでの過程を学ぶ。

◆課題整理、まとめ、検証 学びのゴール

「間接体験」や「直接体験」を通じて得られた情報をもとに、情報を再構成しながら自分の考えをもち、「発信」や「行動動機」ができるようになる。

大館市の修学旅行プログラム

(仮) 日本屈指の米の産地「秋田」にて、「食の大切さ」「持続可能な社会」を学ぶ

課題訴求(共通体験)

課題の深掘り(クラス別学習)

学校

大館市

学校

「ツール」「映像」を活用

①食の大切さを考える「2. 飢餓をゼロに」「15.陸の豊かさを守ろう」

②おいしい「お米」を作る為に、農家の皆さんの1年間の準備や作業について理解する。

③「お米」を大切に作る「きりたんぼ」について理解を深める。



きりたんぼづくり体験

④実際に「きりたんぼの本場」である大館に訪問し、全員できりたんぼづくりを体験する。



米作り・農作業体験

農業の大切さと人の温もりを知る・実際に農業を体験することで、食の礎である農業の大切さを学べます。また、体験前に行う「秋田弁ラジオ体操♪」や農家さんの話す方言からも地域や人の温もりを体感できます。

日本三大美味鶏 比内地鶏を知る (秋田三鶏記念館)

比内地鶏のルーツから学ぶ・「比内鶏」は江戸時代から飼われている鶏で、当時はその美味しさゆえに、年貢として納められていた。昭和17年には、価値を認められ国の天然記念物の指定を受ける。比内鶏を適切に保存しながら、食文化を守るため秋田比内鶏を父に、母にはロード種を交配した「比内地鶏」が誕生。さらに、「安心」をお届けするためブランド認証制度がはじまる。

縄文ロマン体験 (大館郷土博物館)

大館市を知る・縁あって訪れた地域から日本を学ぶ 大館郷土博物館では大館市で発掘された縄文土器や珍しい形の土偶などから地域の歴史・文化・風土を学べます。

農家民泊体験

心豊かに、人とのふれあいの大切さを学ぶ・食の礎である農業に携わる農家さんと過ごす時間のなかで、人の温もりや食の大切さを学ぶ。また、秋田弁ラジオ体操♪や農家さんが話す方言から地域や人の温もりを体感できます。

まげわっぱ作り体験

秋田の暮らしの知恵と自然の力を活かした郷土工芸品づくりを体験・曲げわっぱの材料の秋田杉は、実はきりたんぼの串にも使われています。秋田県の「木」が秋田杉であることから生活に根付いたさまざまなシーンで使われています。

雨天可

雨天可

雨天可

雨天可

雨天可

⑩東北で学んだことをまとめ、実際に行動に移す。

※大館のオリジナル

畑の生育日記 (HP)生徒さん達が作業した畑や田んぼの作物が生育していく様子を秋の収穫物の送付までHPで定期的に更新してお伝えしますので、農業や食の大切さを継続して学習できます。



言葉から地域を学ぶ 秋田弁ラジオ体操♪



腕とこ めえから上さあげで、
でっけぐ せのびっこすべし♪

体験前に実施します♪



爆笑！秋田弁講座劇♪



えぐきたな!
めーが??
コミカルに秋田弁を教えるの
も農家のかっちゃ♪



プログラムのお問い合わせは

お問合せ

大館市まるごと体験推進協議会
(大館市移住交流課内)

〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地

電話:0186-43-7149

Mail: kouryu@city.odate.lg.jp